

登山・登攀の記録

北アルプス 黒部丸山東壁「IRON MAN」(アイアンマン)ルート開拓

日時:1992年7月30日~8月2日(前半) 8月12日~8月16日(後半)

メンバ:伊藤達夫(コーチ)、下西 勲、村田 洋

概要:中央壁に人工主体の新ルートを開拓。上記の2回に分け登攀。前半はベースを1ルンゼ押出しにおいて4ピッチ登攀。後半は緑ルート(下部)登攀後、ベースを中央バンドに置き4ピッチ登攀。下部は緑ルートとダイレクトルートの間を登ったためかなり強引な所もあるが、上部の大ハング越えはハーケンおよびフレンズを使つての登攀となりピトン打ちがかなり楽しめるものと思う。

記録

7月30日

夜明けとともに黒四ダムを出発し、1ルンゼ押出しにベースを設置後、緑ルート取り付きから登攀開始。

(1ピッチ目) 出だしはフリーで取り付き、途中10mほど人工の後、簡単なフリーでテラスへ。

2ピッチ目 フリーで草付き乗越した後、快適なフリーで高度を稼ぎ途中から下降しベースへ戻る。

7月31日

(2ピッチ目) 途中からボルトラダーとなる。緑ルートのすぐ左を登ってT2の5mほど左上の外傾テラスでピッチ切る。

(3ピッチ目) 砂の詰まったクラックを掘り、岩の上のコケをはがしながらピトン打ち・ボルト打ちをして少しずつ体を上へ上げていく。途中から降雨がひどくなりベースへ下降する。

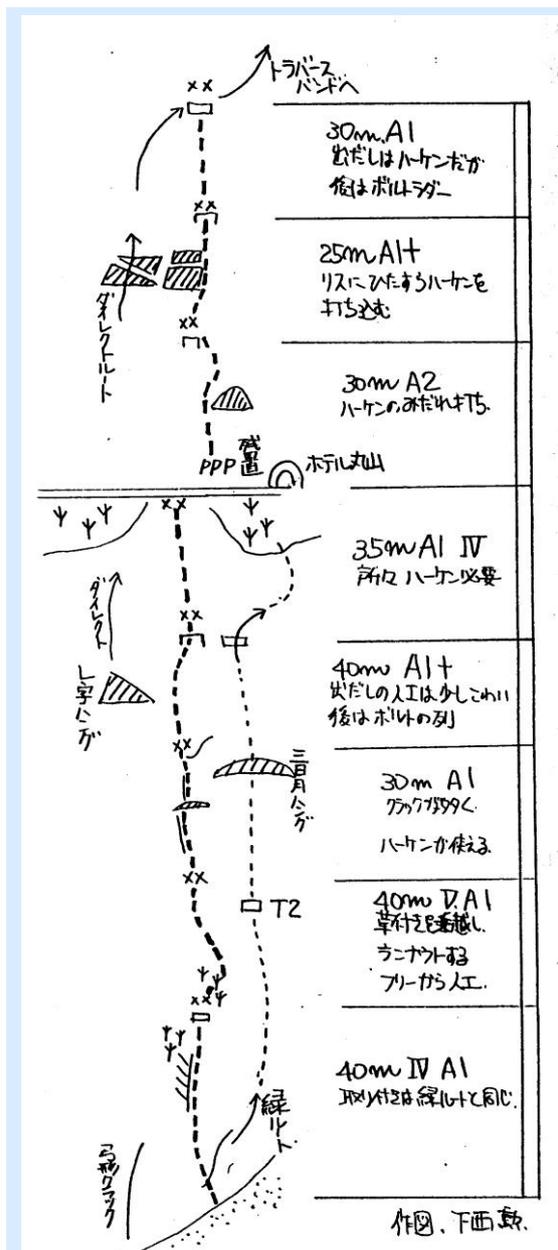
8月1日

前日のやり残した仕事の続きを行う。ハーケンとボルトの人工で三日月ハングの左の垂壁を登り、緑ルート三日月ハング上ビレイポイントの5m程左のレッジでピッチを切る。

(4ピッチ目) 出だし10m程はハーケんで高度が稼げるも、L字ハング左の壁は全くの舗装道路となり、やむなくボルト連打で緑ルート5ピッチ目のテラス左2mのレッジへ上がる。ここで時間切れとなり、緑ルートを下降し下山。

8月12日(後半)

前半同様に朝早くダムを出、内蔵助谷で水を汲み直ぐに緑ルートに取り付く。荷揚げをしな



IRON MAN 8pitch 270mA2

登山・登攀の記録

がら緑ルート4ピッチで前半の4ピッチ目のビレイポイントへ。

(5ピッチ目) ハーケンとボルトの連打。最後はフリーで中央バンドへ。

8月13日

前線通過に伴う大雨で停滞。

8月14日

(6ピッチ目) 上部壁に取り付く。大ハング帯ダイレクトルート右のクラックを目指すためホテル丸山の少し左の壁を登る。所々リスは途切れるが、かなりピトン打ちができる。

(7ピッチ目) いよいよ大ハング。クラックにキャメロット・フレンズをかまし、ピトンを叩き込み、張り出し5mの2段のハングを越える。ハング帯上のレッジでピッチを切って中央バンドへ下降しビバーク。

8月15日

ユマーリングで仕事場へ出勤し8ピッチ目ルート工作。

(8ピッチ目) 人工登攀でダイレクトルート10ピッチ目のテラスへ出る。ここからは既成ルートを登って一気にトラバースバンドへ。ここを終了点として緑ルートの終了点までトラバースして緑ルートを中央バンドまで下降し、ビバーク。

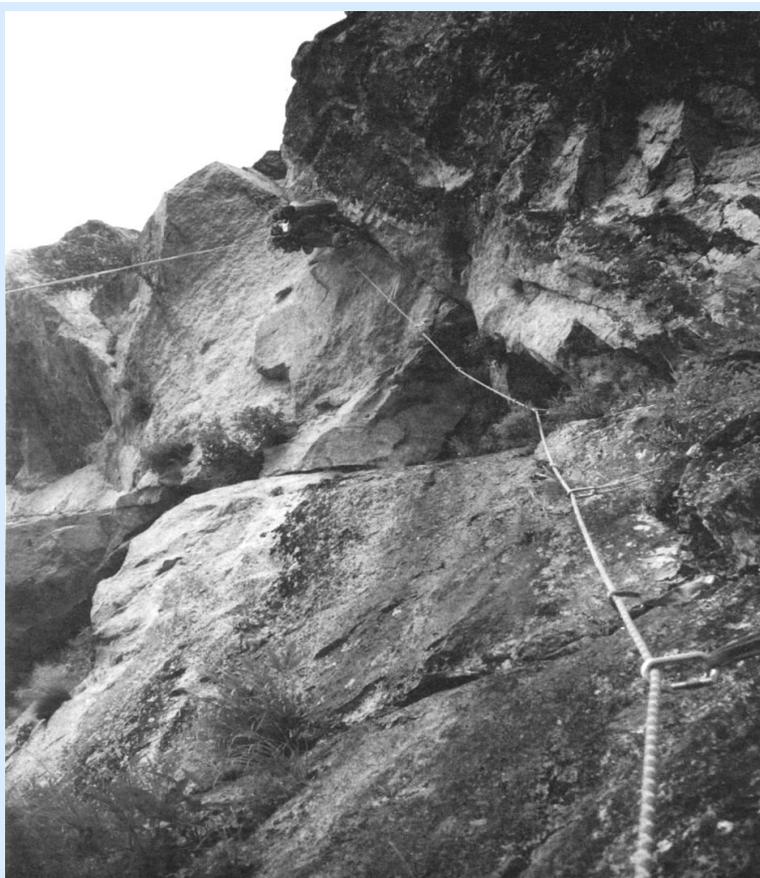
8月16日

緑ルート下降後下山。

使用ギア

- ・ アンカー ペツル 16本 (ハンガーすべて残置) 8mm 4本
- ・ 前進用&プロテクション用ボルト
8mm 39本 5mm 32本
- ・ ハーケン 各種 30本
- ・ キャメロット No.2 まで 2セット
- ・ フレキシブルフレンズ 1セット
- ・ hook 2個

(記/下西)



7ピッチ目 大ハング下をリードする下西